

令和4年 第4回

教育委員会定例会会議録

令和4年4月13日

中央区教育委員会

令和4年第4回教育委員会定例会会議録

開会日時 令和4年4月13日(水) 午後2時00分

場 所 中央区役所 8階 大会議室

出席委員 中央区教育委員会教育長 平林治樹
委 員 本宮典幸
委 員 伊東佳子
委 員 渥美哲夫
委 員 坂本順子

説明のために出席した事務局職員

次 長 生島憲
庶務課長 俣野修一
学務課長 鷺頭隆介
学校施設課長 岡地貴志
指導室長 小林傑
教育支援担当課長 熊木崇
統括指導主事 清水浩和
統括指導主事 林修也
図書文化財課長 志賀谷優

説明のために出席した区長部局職員

文化・生涯学習課長 岩田純治
スポーツ課長 鎌田智之

書 記 中央区教育委員会事務局

教育行政推進係長 一瀬知之
教育行政推進係員 伊藤めぐみ

開 議 午後2時00分平林教育長開会宣言

会議規則第30条による署名委員

教 育 長 平林治樹
委 員 本宮典幸

日程第1 報告事項
各課事業報告について

教育長 それでは、ただいまから令和4年第4回教育委員会定例会を開会いたします。

 初めに、本日の会議録の署名人を御指名いたします。本日は本宮委員にお願いいたします。

本宮委員 はい。分かりました。

教育長 それでは、本日の日程に入ります。

 日程第1、報告事項のうち(1)、(2)につきまして、報告を願います。

庶務課長 「令和3年度教育委員会表彰の実施結果について」について、資料1により報告。「訓令の改正について」について、資料2により説明。

教育長 ありがとうございました。それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問等ございましたらお伺いしたいと思います。

 (「なし」の声あり)

教育長 よろしいでしょうか。

 それでは、続きまして、報告事項の(3)、(4)につきまして、報告願います。

学務課長 「令和4年度在籍児童・生徒・園児数及び学級数について」について、資料3により報告。「令和4年度区立学校・幼稚園周年行事及び新校舎落成式の実施予定日について」について、資料4により報告。

教育長 それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問等ございましたらお伺いしたいと思います。

渥美委員 児童数は全体とすると少し増えたという感じですが、月島第三小学校について見ると前年よりもほぼ1割ぐらい増えているようです。これだけ学級数も増えて児童数も増えると、休み時間などに校庭へ出た時に、人であふれてしまわないのか少し心配なのですが、月島第三小学校の隣にある運動場を活用できないのでしょうか。もう一つ、幼稚園の入園児数が200人ぐらい減っております。子どもの人数は増えている中で、幼稚園に入園する園児数の減少理由と対策について、お考えを聞かせていただけるとありがたいと思います。

学務課長 最初のご質問の月島第三小学校における隣の月島運動場の利用についてでございますけれども、現時点で毎週木曜日と金曜日の午前中につきましては、区民部のスポーツ課と協議しまして、こちらの運動場の利用をさせていただいているという状況でございます。

 そのほか、やはり、ただいま委員からもお話がございましたように、子供たちの遊び場の確保という観点から、こちらをどのように、もう少し有効に活用させていただけるのかどうか、そちらにつきましては、今後また協議をさせていただきたいと考えているところでございます。

 続きまして、幼稚園の入園児が減少したことに対する対策でございますけ

れども、今年度予算におきまして、学務課において、幼稚園を紹介するための動画の作成や、また同様に、幼稚園の案内を分かりやすくするリーフレットの作成ということが予算化されているところでございます。

まずはこうした自治体の制作物を通じまして、区立の幼稚園がいかに優れているかということについてを周知させていただき、幼稚園の魅力と認知度の向上に努めてまいりたいと考えているところでございます。

庶務課長 隣のグラウンドの件で、過去からの経緯をお話させていただきますと、令和元年度に、月島第三小学校の校庭内においての体育授業が成り立たないというような状況や、休憩時間に子どもがぶつかって危ないのではないかという意見が地域の方を通じて教育委員会に寄せられました。

そうしたことを踏まえて、月島第三小学校の校長と協議をする中で、隣のグラウンド利用についても代替案が出てきたわけでございます。

ただ、こちらにつきましては、学務課長のほうから現在、木曜と金曜というお話が出ましたけれども、グラウンドの利用が、近隣の保育所が遊び場代わりとして使ったりというようなことが散見されるということで、こちらが思うような学校教育に適用できるような利用は難しく、現時点では週2日というようなところで折り合っているところでございます。今後とも、区民部のほうとは、引き続き空いている時間帯、場所の活用について、さらに協議を進めてまいりたいと考えています。

次 長 また、幼稚園の入園児数の減少理由についてでございます。確かに、委員がおっしゃるように子どもの数は増えているのに対し、その一方で幼稚園の園児数は減っているという話で、これは保護者の方の就労の形態が昔に比べると変わってきていることが影響していると考えております。ここ最近共働きの世帯が増えてきている中で、さらに保育の無償化ということが行われまして、そういった影響が昨年度から本格的に出てきており、幼稚園の園児の数が減っているという実態がございます。

幼児教育の魅力に関して再度確認するとともに、その質の向上というところはすぐにやっていかなければならないというふうに考えているところですが、現実問題として、幼稚園に通わせることが可能かどうかというところに関しては、非常に厳しい現実が迫ってきているところがございますので、入園児数が急に増えるとか、そういったところはなかなか難しいところがあるのではないかなというふうに思っています。

ただ、中央区としては、幼小、あるいは質のレベルで言えば、保幼小の連携ということで取り組んでできておりますので、その核をなす、幼児教育というところの質はしっかり確保してPRしていくといったところは努めていきたいと考えているところです。

渥美委員 働き方とか、確かに生活のスタイルが以前と大分変わってしまいましたので、幼稚園というと帰りも早いですが、年少クラスだと9時に登園し、11時に降園となるとその生活のスタイルは難しいなどあると思うのですけれども、幼稚園は幼稚園で幼児教育という面においては大変素晴らしいものがあるので、その部分をアピールするということを皆さんに頑張ってもらいたいと思っております。

また、遊び場の問題などについては、近隣に保育園がたくさんできていて、保育園の子供たちが月島のグラウンドに遊びに来る時など運動場利用の交通整理をするような仕組みというものはあるのですか。

学務課長 いわゆる運動場利用の調整を行うということですが、基本的には利用者の希望に応じた形での利用の状況となっているところがございますので、特段にそうした調整機能が働いているというところはない状態でございます。

伊東委員 先ほどの幼稚園の件なんですけれども、幼稚園、中央区内ですと、たしか現在、区立だけです。近隣区の私立幼稚園に通われているお子さんの数などは把握されていらっしゃるのでしょうか。

次 長 今、数字は手元にないのですが、共有はしています。ただ多くはないですね。幼稚園に通っている子どもたちも以前は3割ぐらいいたのですが、保育の無償化が始まって、25%近くまで落ち込んでいるように思います。

そのうちの数%が、恐らく私立の幼稚園に通っている状況なので、先ほどの話で言うと、私たちが区立の幼稚園の教育をPRをして紹介していくということは、私立の幼稚園に通われている保護者の方からの選択肢として見てもらえるようになることに繋がっていくと思います。

伊東委員 保護者も二極化というか、保育園でないと無理という御家庭もあれば、幼児教育に力を注ごうと区外の私立幼稚園に通われているご家庭もあると思います。やはり区外の私立幼稚園に通われている方たちに、まだまだ区立幼稚園のよさが届いていないのかなと思いますので、その辺りを人数も含めて把握しつつ、対策していただけたらいいのかなと思いました。

本宮委員 私も幼児教育の良さをお伝えする際に感じるのですが、入園前にはもう既にどこの幼稚園に通うかを決めているご家庭が多いので、まだ赤ちゃんの時期から区立幼稚園の教育の素晴らしさを御家庭に宣伝することが大切かと思っております。早めの対応をしていくことが必要だと考えます。

坂本委員 特認校の制度とスクールバスの利用状況についてお尋ねしたいと思います。特認校制度、スクールバスの利用というのは本区の特徴の一つかと思いますが、今回、特認校制度による入学者数が昨年度より59人増加ということで、見える傾向のようなものがあれば教えていただきたい。これが1点目です。

2点目としましては、スクールバスの利用状況で、申請者は307人という

ことですが、入学者数が増えていることに伴って申請者数も増えているとしますと、利用の不足であるとかがあれば、教えていただければと思います。

学務課長

まず特認校制度の傾向という観点から申しますと、今年度の数字の特徴といたしましては、月島第三小学校から泰明小学校に代えられた方が14名増で、また、京橋築地小学校に代えられた方は10名の増ということになっております。

泰明小学校につきましては、従来から一定数、選択肢として挙げられることが多いところでございますけれども、京橋築地小学校については、学級数が拡大されたということで、選択されたご家庭が増えたのかなと考えているところでございます。

また、併せまして、スクールバスの利用状況のところでございますけれども、申請者数自体は昨年度よりも4人減の307人という状況でございます。

現時点で、我々が把握している限り、利用者の実際の数につきましても、大きく増減があるというわけではなく、むしろ若干減になるということで考えているところでございます。

坂本委員

そうすると、バスの利用について、使えなくなって困るような状況は特段ないと理解してよろしいでしょうか。

学務課長

ただいま、委員のご指摘のとおりでございます。

坂本委員

ありがとうございました。

教育長

スクールバスについては、総体のボリューム的には今後増えていくということで、早めの検討を進めているところであります。

ほかにご質問よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長

それでは、続きまして、報告事項の(5)、(6)について、お願いします。

指導室長

「令和4年度小・中学校、幼稚園教育管理職配置一覧」について資料5により報告。

「令和4年度中央区教育委員会研究奨励校(園)」について資料6より報告。

教育長

それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問等ございましたらお伺いしたいと思います。

(「なし」の声あり)

教育長

よろしいですか。

それでは、続きまして、報告事項(7)から(9)について説明願います。

図書館文化財課長

「令和4年度区立図書館図書特別整理の実施に伴う臨時休館及び図書等のリサイクルの実施について」について、資料7により説明。

「令和4年度「子ども読書の日」記念事業の実施について」について、資料8により説明。

- 「登録有形文化財（建造物）の登録について」について、資料9により報告。
- 教育長 それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問等ございましたらお伺いしたいと思います。
- 坂本委員 資料8についてお尋ね申し上げます。「子ども読書の日」の記念事業の実施ということで、これまでもいろいろな取組をされておられると思うのですが、学校教育との連携あるいは幼児教育との連携という意味で、こういったことをお考えでいらっしゃるか、もし企画などがあれば教えていただければと思います。
- 図書文化財課長 学校との連携ということで、昨年、図書文化財課のほうで、学校連携の組織を立ち上げたところでございます。その中で、学校図書館だとか、学校の図書館司書の先生とお話をしながら、子供たちに読書のきっかけですとか、本を好きになってもらうにはどういうふうにしたらいいか、図書館の司書が出向いでいろいろな支援をやっていきたいというふうに考えているところでございます。
- 坂本委員 小さなときから絵本や本に触れて、いろいろな想像力を生んでいくということはとても大事なことだと思いますので、そのような心の醸成に、なお寄与していただければありがたいと存じます。
- 教育長 ほかにご質問ございますでしょうか。
- （「なし」の声あり）
- 教育長 よろしいでしょうか。
- 続きまして、報告事項の（10）について報告願います。
- 文化・生涯学習課長 「令和4年度文化・生涯学習課事業一覧」について、資料10により説明。
- 教育長 それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問等ございましたら伺いいたします。
- （「なし」の声あり）
- 教育長 よろしいでしょうか。
- それでは、報告の（11）について、お願いします。
- スポーツ課長 「令和4年度スポーツ事業一覧」について、資料11より説明。
- 教育長 それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問等ございましたらお伺いをいたします。
- （「なし」の声あり）
- 教育長 よろしいでしょうか。
- それでは、報告事項の（12）について、各所管課長からお願いします。
- 庶務課長 「意見・要望」の1件目について、資料12により報告。
- 学務課長 「意見・要望」の2件目について、資料12により報告。
- 学校施設課長 「意見・要望」の3件目から5件目について、資料12により報告。

- 指導室長 「意見・要望」の6件目、7件目について、資料12により報告。
- 教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等ございましたらお伺いしたいと思います。
- 伊東委員 図書館での利用者の方が、図書館が併設されている校庭での声がうるさいということであると、これは、図書館のほうの防音のやり方であったり、何らかの別の対応法が必要なのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。
- 図書館文化財課長 今回コロナ禍ということで、図書館の窓を開けて開館をしていた時期があり、窓を開けると、学校で体育とか、校庭に出たときに図書館の中に声が響いてきて騒音と捉えられたと思うのですが、通常ですと図書館は基本的には窓を開けていませんので、騒音には繋がらないかと考えます。
- 伊東委員 ありがとうございます、それともう一点。中央区内で自転車の練習ができる場所が非常に限られているなと思います。練習場所がないので、親御さんも公園内で練習をさせてしまい、そして、公園内に遊びに来ているお子さんと接触してしまうということになるのかなと思っております。
- ただ単に禁止をすとか、交通マナーを教えるというところだけではなく、例えば、自転車教室などといった地域の子供たちが安全に自転車に乗れるような教室などをご検討いただければと思います。
- 指導室長 学校ではセーフティ教室等で、警察署を呼んで自転車の乗り方教室ということもやっておりますが、保護者の方にも啓発しながら、他人に迷惑をかけるような形で練習する場所の確保というものは必要だと思っております。
- 交通安全の指導や自転車の乗り方ということについては、学校現場や幼稚園とも話をし、引き続き実態把握に努めてまいります。
- 学校施設課長 学校開放の中で、校庭を活用した安心できる子供の遊び場づくり、体力づくりといった事業を行っております。主に月島第一小学校の校庭を利用して、スポーツクラブの大江戸月島さんのほうに委託をして、月に1回ないし2回、そういった校庭を利用したかけっこやサッカーなど、いろいろな競技をやっておりまして、その中で自転車というものもございます。年に1回か2回程度にはなりますが、自転車の乗り方を指導する機会は準備させていただいているところがございます。
- 渥美委員 公共の場でのマナーについては、子ども達に注意喚起や指導するだけではなく、さらにもう一步踏み込んで、クラスで、例えば道徳の時間等を活用して子ども達自身で話し合う機会を設け、考えてもらうことも効果的かと考えます。既に実施されているかとは思いますが、宜しく願いいたします。
- 教育長 ほかにご質問ございませんでしょうか。
- （「なし」の声あり）

教育長 それでは、これで本日の日程は終了いたしました。委員の皆さまからご意見等ございましたら伺いしたいと思います。

（「なし」の声あり）

教育長 ほかに無いようでございますので、それでは、これもちまして、本日の委員会を閉会といたしたいと思います。ありがとうございました。

午後2時56分 教育長閉会宣言
署名委員